

令和3年度 寄附の活用報告

令和3年度は児童センターの運営（充当額3,344千円）や小学校教育研究事業（充当額3,336千円）、市民体育大会等開催支援事業（充当額1,580千円）などに57,778千円（見込み）を活用させていただきました。

魚津市を想いご寄附くださいました方々に、心より御礼申し上げます。

令和3年度にいただいたご寄附につきましては、お選びいただいた使い道にあわせて、令和4年度以降に活用させていただく予定です。

＜ふるさと寄附＞		(単位:千円)
使 途		R3年度分 活用した額
①小学生や中学生の教育環境の充実		18,883
②新型コロナウイルス感染症対策		284
③赤ちゃんからお年寄りまで、みんなの健康づくり		3,349
④魚津まつり、創立100年を超える魚津水族館など観光振興や地域の賑わいづくり		3,222
⑤芸術・音楽・歴史など文化振興		3,760
⑥全日本大学女子野球選手権など、スポーツの充実		1,580
⑦地場産業体験学習		1,502
⑧しんきろうマラソン大会運営助成		0
⑨たてもんと全国植樹祭レガシー事業		348
⑩うおづすりこみプログラム		100
⑪魚津市史(自然史編)刊行		0
⑫豊かな自然とのびのび暮らせるまちづくり		0
⑬市長におまかせ		24,750
総 計		57,778

令和3年度の主な活用事例のご紹介

①【みなSUNデー～つばめであそぼう～事業】

休日も親子で天候に関係なく安心して遊べる場所が欲しいという声にお応えし、つばめ児童センターを月2回の日曜日に開館することになりました。児童厚生員による、親子で楽しめる遊びの提供や親子のふれあい交流を促進し、子供の健やかな成長と子育てを楽しむ環境を整えました。

②【紅ズワイガニロボコン 魚津大会開催】

魚津の特産品ベニズワイガニをモチーフとしたロボットコンテストを開催しました。市内の小学4～6年生が対象で、児童のプログラミングへの関心を深めることが目的です。大会に先駆けて、事前講習会も開催し、工作やプログラミングの指導も行いました。





③【トランスジャパンアルプスレース (TJAR) 補助金】

日本海側の魚津市から太平洋側の静岡市まで、3千メートル級の山々を超えて踏破する過酷な山岳レース「トランスジャパンアルプスレース」が開催されました。全国から選ばれた精鋭30名が8日間に渡る過酷なレースに参加しました。(天候不良により途中中止)。

④【日本風景街道ミニマラソン大会補助金】

令和2年に日本風景街道に登録された蜃気楼ロードを舞台に、ミニマラソン大会が開催され、県内から304人のランナーが参加しました。この大会は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった「魚津しんきろうマラソン」として開催されました。



⑤【ふるさと発見バス事業】

魚津市の歴史や自然を学ぶ校外学習「ふるさと発見バス事業」を開催しました。魚津市内の博物館をはじめ、東山円筒分水槽、高円堂用水などを見学し、ふるさと魚津の歴史や文化について理解を深めました。

⑥【地場産業体験推進事業】

本市には農業や水産業をはじめ、さまざまな地場産業があります。地元子ども達にも地元の産業を知ってほしいとの思いから、市内の小学生がブルーベリー農園やリンゴ農家などを見学しました。